

# 奈良県企業の正社員の採用動向

(第150回地元企業動向調査付帯調査)

【対象企業：個人事業を含む県内288先】

※正社員とは「期間の定めのない雇用契約」を締結した社員（非正社員を除く）。新卒採用は「各年度4月時点」、中途採用は「各年度中」の採用の有無を回答。

## 1. 正社員の採用状況

### (1) 2011年度・採用実績

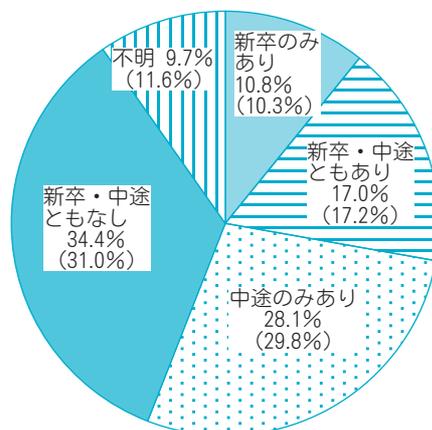
■11年度新卒採用は10年度とほぼ同じ約3割の企業で実施

図表1で新卒採用を見ると、「採用実績あり」は全産業が27.8%（対前年度比+0.2ポイント）で前年度比ほぼ横ばい。業種別に見ると、製造業が27.9%（同+1.4ポイント）、非製造業が27.6%（同△1.1ポイント）で、前年度と逆転して製造業の採用実績が非製造業を上回った。

■11年度中途採用実績は製造業で約4ポイント低下  
中途採用を見ると、「採用実績あり」は全産業で45.1%（同△1.9ポイント）で前年度比やや落ち込み。業種別では製造業が42.2%（同△4.1ポイ

図表2 2011年度・採用実績の有無

【新卒・中途の組合せ別】



カッコ内は前年度調査の値（以下、同じ）  
不備データを補正しているため、図表1の値とは必ずしも合致しない

ント）、非製造業が48.5%（同+0.7ポイント）と、製造業でやや実績が落ちている。規模別に見ると、従業員数20人以上規模では半分以上の企業が中途採用を実施している。

図表2を見ると、新卒・中途の組合せ別では、

図表1 2011年度・採用実績の有無

	回答企業数	新卒採用			中途採用			
		あり	なし	不明	あり	なし	不明	
全産業	288	27.8 (27.6)	55.2 (51.7)	17.0 (20.7)	45.1 (47.0)	41.0 (37.0)	13.9 (16.0)	
業	製造業	154	27.9 (26.5)	53.2 (51.9)	18.8 (21.6)	42.2 (46.3)	40.9 (34.6)	16.9 (19.1)
	食料品	12	25.0 (38.9)	33.3 (50.0)	41.7 (11.1)	66.7 (66.7)	16.7 (27.8)	16.7 (5.6)
	繊維製品 (靴下)	32	15.6 (12.1)	62.5 (60.6)	21.9 (27.3)	28.1 (27.3)	50.0 (45.5)	21.9 (27.3)
	(靴下)	18	16.7 (13.3)	61.1 (66.7)	22.2 (20.0)	33.3 (26.7)	38.9 (46.7)	27.8 (26.7)
	木材・木製品	14	7.1 (6.7)	92.9 (46.7)	0.0 (46.7)	35.7 (46.7)	64.3 (26.7)	0.0 (26.7)
	化学・医薬品	15	26.7 (36.4)	40.0 (54.5)	33.3 (9.1)	26.7 (36.4)	46.7 (54.5)	26.7 (9.1)
	プラスチック製品	20	40.0 (47.1)	45.0 (29.4)	15.0 (23.5)	50.0 (52.9)	25.0 (17.6)	25.0 (29.4)
	金属製品・非鉄	19	36.8 (22.2)	47.4 (50.0)	15.8 (27.8)	36.8 (50.0)	42.1 (33.3)	21.1 (16.7)
	機械工業	14	35.7 (38.9)	57.1 (44.4)	7.1 (16.7)	57.1 (50.0)	35.7 (22.2)	7.1 (27.8)
	その他の製造業	28	35.7 (25.0)	46.4 (62.5)	17.9 (12.5)	50.0 (50.0)	39.3 (40.6)	10.7 (9.4)
種	非製造業	134	27.6 (28.7)	57.5 (51.6)	14.9 (19.7)	48.5 (47.8)	41.0 (39.5)	10.4 (12.7)
	卸売業	28	17.9 (24.3)	57.1 (54.1)	25.0 (21.6)	53.6 (45.9)	28.6 (43.2)	17.9 (10.8)
	小売業	16	31.3 (37.5)	68.8 (50.0)	0.0 (12.5)	37.5 (54.2)	56.3 (37.5)	6.3 (8.3)
	建設業	36	27.8 (27.9)	58.3 (51.2)	13.9 (20.9)	47.2 (51.2)	41.7 (34.9)	11.1 (14.0)
	不動産業	7	0.0 (0.0)	85.7 (88.9)	14.3 (11.1)	28.6 (11.1)	57.1 (66.7)	14.3 (22.2)
	運輸業	8	37.5 (28.6)	37.5 (71.4)	25.0 (0.0)	62.5 (57.1)	25.0 (28.6)	12.5 (14.3)
	観光(宿泊)・レジャー	7	42.9 (33.3)	42.9 (33.3)	14.3 (33.3)	42.9 (55.6)	42.9 (33.3)	14.3 (11.1)
	医療・福祉	5	80.0 (100.0)	20.0 (0.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	サービス業	12	25.0 (27.3)	58.3 (36.4)	16.7 (36.4)	66.7 (27.3)	33.3 (45.5)	0.0 (27.3)
	その他の非製造業	15	26.7 (16.7)	60.0 (58.3)	13.3 (25.0)	26.7 (41.7)	66.7 (50.0)	6.7 (8.3)
従業員数	1~9人	42	0.0 (10.4)	81.0 (58.3)	19.0 (31.3)	11.9 (16.7)	71.4 (54.2)	16.7 (29.2)
	10~19人	59	10.2 (6.1)	64.4 (62.1)	25.4 (31.8)	30.5 (39.4)	47.5 (43.9)	22.0 (16.7)
	20~49人	87	25.3 (18.1)	58.6 (62.9)	16.1 (19.0)	52.9 (47.6)	37.9 (39.0)	9.2 (13.3)
	50~99人	48	35.4 (45.2)	41.7 (33.3)	22.9 (21.4)	58.3 (59.5)	22.9 (21.4)	18.8 (19.0)
	100人以上	52	67.3 (70.7)	30.8 (27.6)	1.9 (1.7)	63.5 (70.7)	30.8 (22.4)	5.8 (6.9)

「あり」「なし」の全産業平均を上回る比率の部分に網掛けしている

「新卒・中途ともなし」(34.4%)が最も多く、前年度比3.4ポイント増えた。

(2) 2012年度・求人計画

■12年度新卒採用計画は全産業で約3ポイント低下

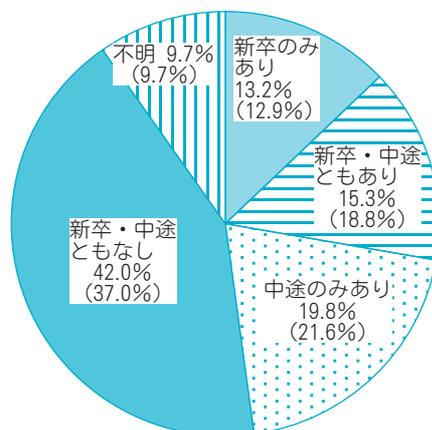
図表3で新卒採用を見ると、「求人計画あり」は、全産業が28.5%(同△3.2ポイント)、製造業が26.6%(同△1.2ポイント)、非製造業が30.6%(同△5.1ポイント)で、いずれも前年度比減少している。

■12年度中途採用計画は全産業で約5ポイント低下、4割超の企業で新卒・中途どちらの求人計画もなし

中途採用を見ると、「求人計画あり」は全産業35.1%(同△5.3ポイント)、製造業36.4%(同変化なし)、非製造業33.6%(同△11.0ポイント)で、とくに非製造業の前年度比落ち込みが大きい。

図表4 2012年度・求人計画の有無

【新卒・中途の組合せ別】



不備データを補正しているため、図表3の値とは必ずしも合致しない

図表4を見ると、新卒・中途の組合せ別では「新卒・中途ともなし」(42.0%)が最も多く、前年度比5.0ポイント増えた。4割超の企業で新卒・中途どちらの求人計画も立てていないことになる。

図表3 2012年度・求人計画の有無

	回答企業数	新卒採用			中途採用			
		あり	なし	不明	あり	なし	不明	
全産業	288	28.5 (31.7)	54.9 (49.8)	16.7 (18.5)	35.1 (40.4)	50.0 (42.0)	14.9 (17.6)	
業	製造業	154	26.6 (27.8)	55.8 (52.5)	17.5 (19.8)	36.4 (36.4)	49.4 (44.4)	14.3 (19.1)
	食料品	12	33.3 (27.8)	33.3 (55.6)	33.3 (16.7)	75.0 (61.1)	25.0 (27.8)	0.0 (11.1)
	繊維製品(靴下)	32	18.8 (15.2)	65.6 (69.7)	15.6 (15.2)	40.6 (21.2)	40.6 (51.5)	18.8 (27.3)
	木材・木製品	14	0.0 (6.7)	100.0 (53.3)	0.0 (40.0)	28.6 (26.7)	71.4 (53.3)	0.0 (20.0)
	化学・医薬品	15	40.0 (54.5)	46.7 (36.4)	13.3 (9.1)	26.7 (45.5)	53.3 (36.4)	20.0 (18.2)
	プラスチック製品	20	30.0 (47.1)	45.0 (29.4)	25.0 (23.5)	25.0 (41.2)	55.0 (35.3)	20.0 (23.5)
	金属製品・非鉄	19	36.8 (38.9)	42.1 (44.4)	21.1 (16.7)	47.4 (55.6)	36.8 (33.3)	15.8 (11.1)
	機械工業	14	28.6 (27.8)	57.1 (38.9)	14.3 (33.3)	28.6 (33.3)	50.0 (44.4)	21.4 (22.2)
	その他の製造業	28	28.6 (25.0)	53.6 (62.5)	17.9 (12.5)	28.6 (28.1)	60.7 (56.3)	10.7 (15.6)
	非製造業	134	30.6 (35.7)	53.7 (47.1)	15.7 (17.2)	33.6 (44.6)	50.7 (39.5)	15.7 (15.9)
種	卸売業	28	21.4 (27.0)	53.6 (54.1)	25.0 (18.9)	17.9 (40.5)	53.6 (40.5)	28.6 (18.9)
	小売業	16	37.5 (37.5)	62.5 (50.0)	0.0 (12.5)	31.3 (33.3)	62.5 (50.0)	6.3 (16.7)
	建設業	36	27.8 (39.5)	55.6 (44.2)	16.7 (16.3)	50.0 (44.2)	38.9 (41.9)	11.1 (14.0)
	不動産業	7	14.3 (11.1)	71.4 (66.7)	14.3 (22.2)	14.3 (11.1)	71.4 (66.7)	14.3 (22.2)
	運輸業	8	37.5 (14.3)	37.5 (71.4)	25.0 (14.3)	37.5 (71.4)	50.0 (28.6)	12.5 (0.0)
	観光(宿泊)・レジャー	7	42.9 (55.6)	42.9 (22.2)	14.3 (22.2)	14.3 (77.8)	57.1 (11.1)	28.6 (11.1)
	医療・福祉	5	80.0 (80.0)	20.0 (20.0)	0.0 (0.0)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
	サービス業	12	25.0 (36.4)	58.3 (45.5)	16.7 (18.2)	25.0 (45.5)	58.3 (27.3)	16.7 (27.3)
	その他の非製造業	15	33.3 (41.7)	53.3 (33.3)	13.3 (25.0)	26.7 (41.7)	60.0 (41.7)	13.3 (16.7)
	従業員数	1~9人	42	0.0 (8.3)	83.3 (58.3)	16.7 (33.3)	7.1 (10.4)	76.2 (58.3)
10~19人		59	6.8 (16.7)	64.4 (56.1)	28.8 (27.3)	20.3 (42.4)	59.3 (47.0)	20.3 (10.6)
20~49人		87	26.4 (28.6)	56.3 (56.2)	17.2 (15.2)	43.7 (39.0)	42.5 (43.8)	13.8 (17.1)
50~99人		48	39.6 (38.1)	41.7 (47.6)	18.8 (14.3)	43.8 (59.5)	39.6 (26.2)	16.7 (14.3)
100人以上	52	69.2 (69.0)	30.8 (25.9)	0.0 (5.2)	51.9 (51.7)	40.4 (31.0)	7.7 (17.2)	

「あり」「なし」の全産業平均を上回る比率の部分に網掛けしている

特集

2. 人材確保の状況【2011年度】

■希望通りの採用ができていない企業は約半分。企業のニーズと人材水準のミスマッチも4割近くあり

図表5を見ると、新卒採用における希望する人材確保の状況は、製造業、非製造業とも「希望する人材を十分な人数分だけ採用できている」が最多だが、製造業が51.2%（同+2.4ポイント）、非製造業が45.9%（同△18.5ポイント）と、とくに非製造業での人材確保難が目立つ。

理由を見ると、「必要人数は採用できているが、希望する水準の人材を採用できていない」が製造業で34.9%（同△2.3ポイント）、非製造業で37.8%（同+15.6ポイント）あり、時間をかけて新卒者を教育する余裕がなく即戦力を求める企業のニーズと、実際の人材水準とのミスマッチが起きているものと見られる。

中途採用でも、この「希望する水準の人材を採用できていない」という項目は製造業が36.9%（同+0.9ポイント）、非製造業が36.9%（同+10.2ポイント）と前年度比増加しており、企業ニーズと人材水準とのミスマッチが起きている。

3. 中途採用で重視する項目

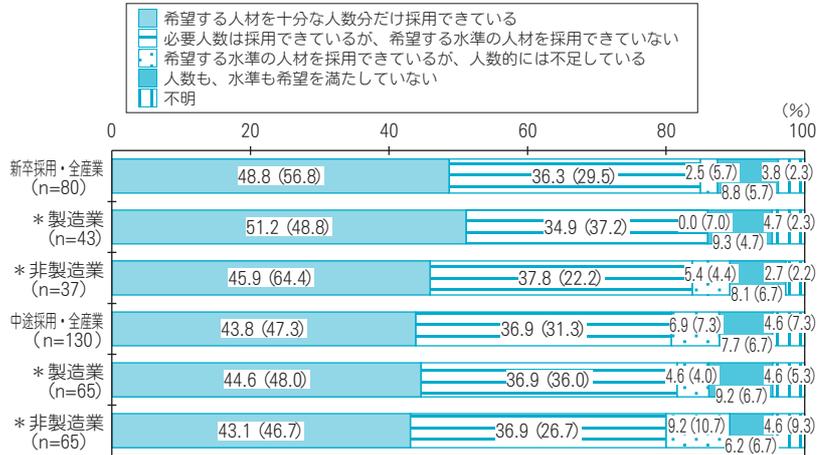
■「職務経験」を求める企業が約6ポイント増加。雇用のミスマッチの増大を示す

図表6を見ると、1位の「熱意・意欲」（61.8%）から4位の「健康・体力」までは前年度と順序が変わらないが、5位の「職務経験」（42.7%）が前年度比+6.3ポイントと、前年の8位から大きく回答を増やしている。

前項「人材確保の状況」で触れたように、職務

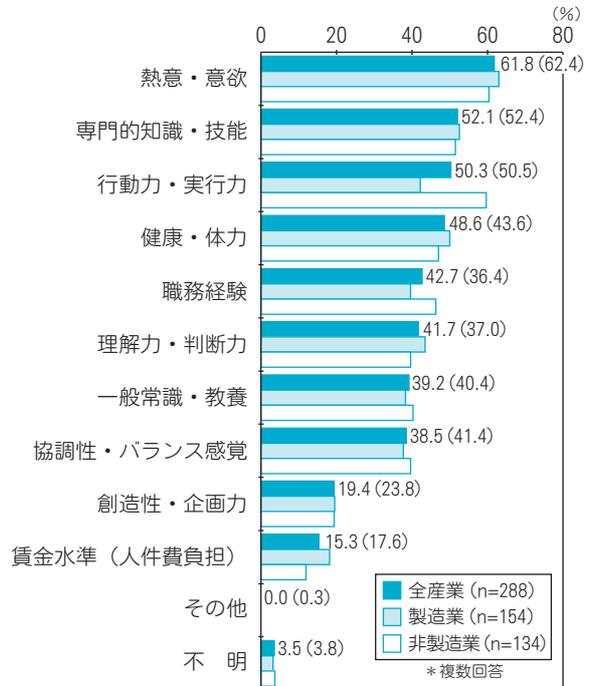
図表5 人材確保の状況【新卒採用・中途採用】

【対象：2011年度に新卒採用実績あり80先、中途採用実績あり130先】



経験を持つ即戦力を求めたい企業と実際の人材との間に、雇用のミスマッチが大きくなってきているものと見られる。

図表6 中途採用で重視する項目



4. 2012年度・採用計画者数増減【2011年度実績比】

■新卒採用計画はとくに製造業で増加の動き、中途採用計画は全産業で増加の動きが見られる

図表7で12年度の採用計画全体を見ると、全産業では「増加」が30.2%（同+0.2ポイント）、「変化なし」が38.1%（同△3.7ポイント）、「減少」が15.1%（同△1.4ポイント）となっている。

新卒採用は、「増加」が全産業で35.4%（同△0.2ポイント）、製造業で36.6%（同+7.7ポイント）、非製造業で34.1%（同△7.0ポイント）と、とくに製造業で採用意欲が高まっている。一方、「減少」は全産業で19.5%（同+9.6ポイン

ト）、製造業で22.0%（同+10.9ポイント）、非製造業で17.1%（同+8.2ポイント）と、全体的にやや上昇してきている。

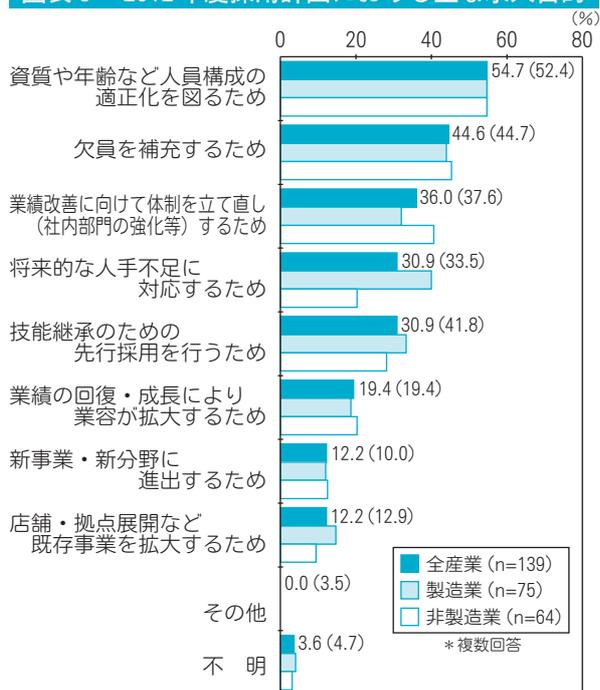
中途採用は、「増加」が全産業で39.6%（同+7.8ポイント）、製造業で41.1%（同+7.2ポイント）、非製造業で37.8%（同+7.8ポイント）となっており、中途採用については全産業で採用計画者数を増加させる動きが見てとれる。

図表7 2012年度・採用計画者数の増減

【対象：2012年度に求人計画のある企業139先】 (%)

		企業数	増加	変化なし	減少	不明
採用全体	全産業	139	30.2(30.0)	38.1(41.8)	15.1(16.5)	16.5(11.8)
	業種 製造業	75	32.0(30.5)	32.0(40.2)	16.0(19.5)	20.0(9.8)
	業種 非製造業	64	28.1(29.5)	45.3(43.2)	14.1(13.6)	12.5(13.6)
	従業員数 1～9人	3	66.7(33.3)	0.0(16.7)	0.0(16.7)	33.3(33.3)
	従業員数 10～19人	15	13.3(33.3)	53.3(40.0)	0.0(6.7)	33.3(20.0)
	従業員数 20～49人	48	39.6(34.0)	29.2(47.2)	12.5(13.2)	18.8(5.7)
	従業員数 50～99人	31	22.6(28.1)	45.2(40.6)	12.9(12.5)	19.4(18.8)
従業員数 100人以上	42	28.6(24.5)	40.5(40.8)	26.2(28.6)	4.8(6.1)	
新卒採用	全産業	82	35.4(35.6)	37.8(48.5)	19.5(9.9)	7.3(5.9)
	業種 製造業	41	36.6(28.9)	39.0(51.1)	22.0(11.1)	2.4(8.9)
	業種 非製造業	41	34.1(41.1)	36.6(46.4)	17.1(8.9)	12.2(3.6)
中途採用	全産業	101	39.6(31.8)	43.6(45.0)	8.9(14.7)	7.9(8.5)
	業種 製造業	56	41.1(33.9)	41.1(44.1)	7.1(10.2)	10.7(11.9)
	業種 非製造業	45	37.8(30.0)	46.7(45.7)	11.1(18.6)	4.4(5.7)

図表8 2012年度採用計画における主な求人目的



## 5. 2012年度採用計画での主な求人目的（複数回答）

図表8を見ると、前年度と同じく「資質や年齢など人員構成の適正化を図るため」（54.7%）が最多で、以下の順位も前年度とほぼ同じ。

## 6. 総括

2011年度の採用における人材確保の状況を見ると、「希望通りの採用ができていない」とした企業は約半にとどまり、「必要人数は採用できているが希望する水準の人材を採用できていない」との回答が増えてきている。時間をかけて新卒者を教育する余裕がなく即戦力を求める企業のニーズと、実際の人材水準とのミスマッチが起きているものと見られる。

12年度の採用計画では、新卒採用はとくに製造業で増加の動きが、中途採用は全産業で増加の動きが見られるなど、企業側も条件にかなう人材は積極的に採用する意欲を見せている。

「職務経験」を重視するという企業の声が増加してきているが、企業サイドのトライアル雇用制度をはじめとする各種雇用支援助成制度の活用や、求職者サイドの職業意識やスキルを高める取組みなどにより、採用意欲の高い企業と求職者をうまくマッチングさせて上記の雇用のミスマッチを少しでも解消し県内就業率を高めていくことが、本県経済の活性化にとっても喫緊の課題である。

（吉村謙一）